

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 中央公民館						
	作成責任者	八瀬 正雄						
	事業名	中央公民館及び地域公民館事業						
	会計情報	款 教育費	項 社会教育費	目 公民館費	会計 一般会計	事業コード 630263	決算付属資料 248	頁
	施策体系	施策コード 020101	施策名 生涯学習を充実させる					
	開始年度	平成元年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等							
	根拠法令等							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	「つどう」「まなぶ」「むすぶ」という公民館の目的に添った生涯学習講座等を開催し、地域住民の主体的な学習活動を促進することにより、活動を通じた人と人、地域の絆を深め、地域社会への貢献やコミュニティづくりへの意識を高めていく。また、人づくり・地域づくりを担う人材の育成につなげていく。				
	対象者	全市民	対象者数	78,278	単位あたりコスト	0.5
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	子どもから高齢者までが学ぶ多様な生涯学習講座を実施する。また講師は地域の人材を活用するようにしている。食を考える料理教室、体操教室等健康づくりに関する講座。地域をめぐり地域を知る、歴史を学ぶ、まちづくりについて語り合う等地域コミュニティを図る講座。学校と連携し世代間交流を目的としたパソコン教室、弓道教室。環境に関する講座。夏休み期間中には、小学生を対象とした自然観察会、親子陶芸教室など。				
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費		
	報償費	講師謝礼	2,009			
	旅費	研修旅費	6			
	需用費	講座使用 消耗品費(リソグラフィンク、色上質紙)など	210			
	役務費	通信運搬費(講座案内郵便はがき 切手)など	156			
	委託料、使用料及び賃借料他	委託料79 記念式典等備品借用81 備品購入費44	204			
関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	3,000	3,120	2,946	2,763	2,764
		②補正予算		△ 525			
		③流充用額					
		④繰越額計					0
	前年度繰越						
		次年度繰越					
	財源内訳 (①+④内訳)	一般財源	3,000	2,595	2,946	2,763	2,764
		国支出金					
		府支出金					
		地方債					
		その他特財					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	0.15/0.74	0.15 / 0.74	0.22 / 15.05	0.22 / 15.05		
⑤概算人件費	3,050	3,050	39,385	39,385			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	6,050	5,645	42,331	42,148			
⑦執行額	2,597	2,589	2,585				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	86.6%	99.8%	87.7%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		一般講座参加延人数	人	5424/5500	5552/5500	5437 /5600	/ 5,600	5700
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		一般講座の回数	回	377/400	383/400	360/400	/ 400	400
		単位あたりコスト		6.9	6.8	7.2		
			/	/	/	/		
			単位あたりコスト					

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・多様な生涯学習機会を提供し、学習活動を通じて地域課題解決につなげていく力を培う意義の高いものである。社会教育法に基づき設置した施設であり、市の負担が妥当である。 ・講座や教室については、地域コミュニティづくりを推進していく観点から、材料費のみを参加者負担で実施しているが、今後、受益者負担についても検討する必要がある。 ・参加枠を超える受講希望者がある等、市民の生涯学習意欲は高まっている。講師についても、学生から高齢者までの地域住民を活用することにより、地域の人材育成や相互に学びあう場となっている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	多様な生涯学習講座を開催し、きっかけ作りをし、参加を促すことで自己実現、仲間づくり、世代間交流等が図られるとともに地域の絆が育まれている。住民の学習意欲も高まっており、小学校区で組織されている地区公民館と連携し、住民交流や人材育成のために欠かせない場所となっている。参加人数については、7月豪雨災害の影響で休館となる公民館もあり、又、度重なる避難所開設により、公民館事業の中止により、講座参加者は前年より減少した。		
今後の課題及び方向性	社会情勢の変化に伴い、住民ニーズの高まりや、学習意欲の向上等により、これまで以上に地域コミュニティづくりや地域課題解決に必要な学習を盛り込んだ生涯学習講座を実施していく必要がある。			

	所見
庁内及び外部による評価（行革担当課記入）	
三次評価（外部評価）（行革担当課記入）	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	地域性を考慮した講座を実施する。 各地域公民館連携してアンケート調査を実施し、住民ニーズを把握する。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況（対H31） <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 中央公民館												
	作成責任者	八瀬 正雄												
	事業名	公民館運営審議会事業												
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費	会計	一般会計	事業コード	630224	決算付属資料	246	頁
	施策体系	施策コード	020101	施策名	生涯学習を充実させる									
	開始年度	平成元年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	社会教育法 公民館条例												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公民館における各種事業の企画実施、運営に対する公民館運営審議会の審議・答申を受け、公民館活動の活性化を図る。利用者が満足し、公民館活動に参加する住民の増加につなげていく。									
	対象者	福知山市立公民館運営審議会委員	対象者数	18	単位あたりコスト	160.4					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	市立公民館運営審議会開催(年2回) 市立公民館10館の各種事業報告及び事業計画を審議し、事業に関する意見や助言をおこなった。									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費			
報酬	公民館運営審議会委員報酬(2回)					192					
関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
配当予算	①当初	256	224	240			
	②補正予算						
	③流充用額			△ 48			
	④繰越額計				0	0	
前年度繰越							
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源	256	224	192	0	0	
	国支出金						
	府支出金						
	地方債						
	その他特財						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類		実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.2/0	0.2 / 0	0.19 / 0.47	0.19 / 0.47			
⑤概算人件費	1,600	1,600	2,695	2,695			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	1,856	1,824	2,887	2,695			
⑦執行額	160	192	192				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	62.5%	85.7%	100.0%				

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		市立公民館一般講座の参加者数	人	5424/5500	5552/5500	5280/5600	/ 5,600	5700
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		年間審議会開催回数	回	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
		単位あたりコスト		80.0	96.0	96.0		
			/	/	/	/		
			単位あたりコスト					

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・公民館は住民の意見を大切にしながら運営すべきであり、住民の意向を反映させる機関として必要である。福知山市立公民館運営審議会は教育委員会の諮問機関である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・審議会委員の定数は20名で、現在、18名の委員数。審議会委員報酬は、福知山市の委員報酬の規定に定められている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・審議会の提言を受けて公民館事業を実施、推進することで、公民館活動が活発化し、講座参加者増につながる。効果的な提言をいただけるような審議会運営が求められる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>社会教育、学校教育、家庭教育それぞれの立場から、市の公民館運営、活動に対する審議を受け、提言・助言を受けることは、公民館活動の円滑な運営、更には生涯学習及び地域コミュニティづくりの推進に寄与している。</p> <p>今年度は、現在13:00～21:00開館の公民館の午前中開館のあり方等助言を得た。今後は中央公民館一般管理事業と事業統合を行い、自治基本条例の運用も踏まえて更なる効率的な地域公民館のあり方について審議を深める。【定性的評価】</p>	
今後の課題及び方向性		<p>自治基本条例の運用、地域協議会との連携のあり方など、関係課と調整し、より有効な地域公民館のあり方について審議いただく。</p> <p>福知山市では審議会等への女性委員の登用を目標値を定め、積極的に進めていることから、公民館運営審議会委員についても女性委員を推薦いただくよう各団体に依頼し、広く効果的な意見や提言を事業に生かしていく。</p>	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内 容
	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 中央公民館												
	作成責任者	八瀬 正雄												
	事業名	公民館活動研修事業												
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費	会計	一般会計	事業コード	630242	決算付属資料	248	頁
	施策体系	施策コード	020101	施策名	生涯学習を充実させる									
	開始年度	平成元年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公民館大会や各種研修会に積極的に参加し、他市町の先進的な取り組みを学び取り入れることで、事業を実施する公民館職員の知識の向上につながり、地域課題の解決や地域の人材育成につながる公民館活動が実施できる。									
	対象者	公民館長・公民館主事	対象者数	20	単位あたりコスト	185.2					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	・京都府公民館等指導者研修会 ・京都府公民館大会 ・近畿公民館大会・全国公民館セミナーの参加									
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
	旅費	指導者研修会(10人) 近畿・全国研究集会(13人)全国公民館セミナー(1人)							28		
	需用費	研修会参加者資料代(13人)							16		
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	214	131	128							
		②補正予算										
		③流充用額	△ 166	△ 46								
		④繰越額計						0				
	前年度繰越											
		次年度繰越										
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	48	85	128			0				
		国支出金										
		府支出金										
		地方債										
		その他特財										
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	人件費	0.15/0.31	0.15 / 0.31	0.15 / 0.95	0.15 / 0.95							
⑤概算人件費	1,975	1,975	3,575	3,575								
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,023	2,060	3,703	3,575								
⑦執行額	48	55	44									
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	64.7%	34.4%									

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		研修派遣者数	人	42/57	37/57	28 / 48	/ 48	48
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		研修参加率	%	64.9/80	64.9/80	58.3/80	/ 80	80
		単位あたりコスト		0.7	0.8	0.8		
			/	/	/	/		
			単位あたりコスト					

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・公民館活動の充実を図るには、研修に参加し、他市の優れた活動を学ぶことは、今後の事業を考える上で必要不可欠である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・他市への移動手段に公用バスを利用する等、最小限の経費としている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については全員参加を目標としているが、研修会が館の開館日の場合、館長・主事両者の参加が困難な館もある。活動実績は見込みに届いていない。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	公民館大会や各種研修会へ参加することで、他市町の公民館職員同士の交流も図れ、得た知識は各館の活動に活かされている。本年度は全国セミナーに1名が参加し、集中的に公民館事業について学んでいただき、研修成果を全公民館職員で共有できた。共有した内容は、次年度の公民館講座の内容にフィードバックした。【定性的評価】		
今後の課題及び方向性	公民館事業を通じて、地域課題解決や地域づくりを担う人材育成につながる講座等、事業を実施していくため、公民館職員の研修活動は不可欠であり、今後も積極的な参加を促していく。 今年度より、中央公民館及び地域公民館事業と統合し、研修内容を事業運営に反映する形とする。		

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内 容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 生涯学習課						
	作成責任者	八瀬 正雄						
	事業名	地区公民館育成事業						
	会計情報	款 教育費	項 社会教育費	目 公民館費	会計 一般会計	事業コード 630225	決算付属資料 246・248	頁
	施策体系	施策コード 020101	施策名 生涯学習を充実させる					
	開始年度	平成18年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等							
	根拠法令等	社会教育法						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	地域の特性、特色を活かしながら住民ニーズにあう生涯学習活動を通じた人づくり、明るい地域づくりを目指す地区公民館活動を支援し、地域の振興を目指す。				
	対象者	地区公民館	対象者数	31	単位あたりコスト	550.2
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス(バス運転代行)				
	事業概要	「公民館活動のしおり」発行(各地域・地区公民館の1年間の活動をまとめたもの) 地区公民館事業負担金:各地区公民館が行う生涯学習活動に対し、支援を行う 地区公民館長・主事への報償				
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費
		報償費	館長・主事報償費			5,046
旅費		府公民館大会職員旅費			2	
需用費		消耗品費、冊子印刷製本			57	
役務費、委託料、使用料及び賃借料		賞状筆耕料・郵送料・郵便切手・はがき代33、運転代行委託料39、高速通行料19			91	
負担金補助及び交付金	事業負担金			7,342		
関連事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	11,833	11,831	12,551	12,561	12,153
	②補正予算			0		
	③流充用額	△ 98	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越						
予算と執行の状況	一般財源	11,735	11,831	12,551	12,561	12,153
	国支出金	0	0	0		
	府支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特財	0	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.44/0.01	0.45 / 0.01	0.56 / 0.01	0.56 / 0.01		
⑤概算人件費	3,545	3,625	4,505	4,505		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	15,280	15,456	17,056	17,066		
⑦執行額	11,735	11,781	12,538			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	99.6%	99.9%	0.0%		

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	地区公民館活動数	回	281/290	280/290	279/280	/ 280	280
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	地区公民館への活動支援数	館	29/31	29/31	29/31	/ 31
	単位あたりコスト		404.7	406.2	432.3		
	単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・学習活動で得た成果を活かして、現代的な課題や地域の課題解決に取り組める人材育成や活力ある地域コミュニティづくりを推進するためには必要。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・地区公民館活動においては、市との共催事業として実施しており、地区公民館の費用負担は、約90%である。（各地区公民館事業費平均2,300千円）
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・成果目標については、事業規模から経験的に期待される目標としており、十分に理にかなったものとは言い難い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>●生涯学習・社会教育の推進団体として、各地区公民館が行う「あいさつ運動」、「交通安全対策」、「各種スポーツ大会」、「公民館まつり」、「体育祭」、「人権講座」、「各種講座」、「敬老会」などの行事と、学習活動、家庭教育・青少年健全育成の推進、人材育成活動と多くの活動を継続して実施いただいている。</p> <p>●各地区公民館館長・主事、各地域公民館館長・主事で構成する「福知山市公民館連絡協議会」では、各公民館の交流を深めるとともに、現代的課題を共有し、どのように解決するかについて協議を行っている。</p>	
	今後の課題及び方向性	<p>●各地区での住民主体による生涯学習の推進に必要不可欠であるため、継続的に事業を推進する。</p> <p>●各地区公民館で様々な生涯学習活動が実施されているが、急速な少子・高齢化などにより若者の参加者が減少している。より魅力的な生涯学習活動の実施が求められる。また、地区公民館を運営する館長・主事などの役員の人員確保が困難な状況である。</p> <p>●住民自治基本条例に基づく地域協議会の体制や運営に関わり、地区公民館組織は重要な役割を担うと考えられ、公民館組織体制の充実が大切である。</p>		

		所見
庁内及び外部による評価（棚卸し評価）	二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
	三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>■各地区での住民主体による生涯学習の推進に必要不可欠であるため、継続的に事業を推進する。</p> <p>■地区公民館事業負担金のあり方について各地区公民館連絡協議会での意見交換を行い、各地区単位で実施している青少年の健全育成活動（青少年思いやり補助金：平成こたま教育推進事業）を同事業負担金に統合した。これにより事業のスリム化、透明性を高め、併せて各地区公民館の実状に応じた課題解決に向け柔軟に事業企画・運営を行うことができるようになった。</p> <p>■令和元年12月提出予定の社会教育委員からの提言を活かし、地区公民館の組織の在り方や、事業展開などを取り入れていくことを目指す。</p>
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況（対H31） <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 生涯学習課						
	作成責任者	八瀬 正雄						
	事業名	社会教育委員会議運営事業						
	会計情報	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	会計 一般会計	事業コード 630232	決算付属資料 236・238	頁
	施策体系	施策コード 020101	施策名 生涯学習を充実させる					
	開始年度	昭和59年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等							
	根拠法令等	社会教育法、福知山市社会教育委員の定数等に関する条例、福知山市社会教育委員の会議運営規則						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	今日的な課題等の調査研究を踏まえ、社会教育に関する答申や提言を教育委員会に対して行う					
	対象者	福知山市社会教育委員	対象者数	10	単位あたりコスト	210.1	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等						
	事業概要	社会教育委員会議の開催(12回/年程度)(H30年度:10回/年) 提言の提出(2年に1回程度) 中丹・京都等の研修会等に参加					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
	報酬	委員報酬			496		
	旅費	職員旅費、委員旅費			43		
	需用費	冊子(社会情報)購入、研究大会資料代			10		
	使用料及び賃借料	高速道路等通行料			7		
	負担金補助及び交付金	中丹・府分担金			25		
	関連事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	868	923	724	891	591
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	△ 143		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0		
予算と執行の状況	一般財源	868	923	581	891	591
	国支出金	0	0	0		
	府支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特財	0	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.36/0	0.36 / 0	0.19 / 0	0.19 / 0		
⑤概算人件費	2,880	2,880	1,520	1,520		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	3,748	3,803	2,101	2,411		
⑦執行額	614	810	581			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	70.7%	87.8%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		提言実施数	回			1/1		/1
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	会議開催回数	回	6/12	10/12	12/12	/	12	
	単位あたりコスト		102.3	81.0	48.4			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・社会教育法に基づく設置であり、教育委員会に答申や提言をする機関として必要。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・委員定数は、条例に基づき10人以内で、運営を行っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・2年に1度の提言を行っている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>●福知山市の社会教育のあり方について、研修・研究を進め積極的に議論を行った。</p> <p>●第18期(H30～31)においては、令和元年度に公民館事業に対する提言を行えるよう、社会教育委員の視点で公民館活動に対する成果・問題点・課題等の調査と洗い出しを行い、提言書の骨格作りを行った。</p>	
今後の課題及び方向性		<p>●社会教育・生涯学習に対する市民の意識の深化、学校・地域との関連、協働等について、広く知見を得た委員の確保を進める。社会教育委員については、社会教育に関心と熱意のある人材の確保が大切である。</p>	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>■令和3年度以降に行う提言についての検討及び計画立案を行うために必要な会議をもち、福知山市の社会教育の充実・発展のために事業を継続する。</p>
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 生涯学習課												
	作成責任者	八瀬 正雄												
	事業名	婦人教育事業												
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費	会計	一般会計	事業コード	630235	決算付属資料	238	頁
	施策体系	施策コード	020101	施策名	生涯学習を充実させる									
	開始年度	昭和21年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	福知山市男女共同参画推進条例												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	婦人会活動を通して地域の絆を高め、地域力再生の要となるような実践活動を進め、活力ある地域社会づくりを目指す。										
	対象者	婦人会会員	対象者数	120	単位あたりコスト	12.2						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス(バス運転代行)										
	事業概要	福知山市連合婦人会を通じた研修(生涯学習講座)支援 母の日大会開催、ブロック別リーダー研修会、生涯学習講座、京都女性の健康フェスティバル参加、各種京都府連行事・研修会等参加										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費			
		旅費	職員旅費						2			
需用費		燃料費(バス)、消耗品費(リソグラフィック)						21				
委託料		研修会バス運転代行委託						43				
負担金補助及び交付金		共催事業(母の日大会、研修会)負担金						335				
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	393	396	390	357	356
		②補正予算	13	22	0		
		③流充用額			11		
		④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越			0	0		
		次年度繰越		0	0		
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	406	418	401	357	356
		国支出金	0	0	0		
		府支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
	その他特財	0	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	0.01/0.2	0.01 / 0.2	0.07 / 0.2	0.07 / 0.2		
⑤概算人件費	580	580	1,060	1,060			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	986	998	1,461	1,417			
⑦執行額	405	418	401				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	99.8%	100.0%	100.0%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		市民参加者数	人	190	180	305	300	350
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		活動回数	回	8/8	8/8	10/8	/8	8
		単位あたりコスト		50.6	52.3	40.1		
		単位あたりコスト						

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・女性の生涯学習及び人権研修の支援として必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・自己負担（会費、参加費等）しながら活動している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・成果目標については、事業規模から経験的に期待される目標としており、十分に理にかなったものとは言い難い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>●地域に根ざした具体的な実践活動、介護や環境、学習や地域力再生につながるボランティア活動を実践している。また、防災活動や国際交流さらに食育活動にも熱心に取り組まれていることは評価できる。</p> <p>●女性団体として市内外の各種事業に携わり、意見を各市民主体の活動を推進されている。市としても継続的な支援を進め、事業運営を進める。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>●自治会単位での婦人会が減少し、新規会員の確保が難しく、会員の減少が著しい。</p> <p>●市内の女性を代表する団体として市連合婦人会の存在は重要であり、引き続き意見交流を進め、事業のあり方や婦人会活動の方向性、女性に対する生涯学習活動などについて検討し、必要な見直しを行う。</p>			

庁内及び外部による評価（棚卸し評価）	所見	
	二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	所見	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況（対H31） <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 生涯学習課												
	作成責任者	八瀬 正雄												
	事業名	PTA連絡協議会共催事業												
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費	会計	一般会計	事業コード	630237	決算付属資料	238	頁
	施策体系	施策コード	020101	施策名	生涯学習を充実させる									
	開始年度	昭和46年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市PTA連絡協議会のリーダーとして教養を高め、資質の向上を図る機会を通じ、本市PTA活動の推進に寄与する。福知山市PTA連絡協議会をもって各単Pの事業交流等の情報交換を図る										
	対象者	各市立幼稚園・小・中学校PTA会員	対象者数	5,500	単位あたりコスト	0.3						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス(バス運転代行)										
	事業概要	市P幹部研修会、中丹P指導者研修会、府PTA研究大会、市Pブロックインディアカ大会、近畿P研究大会、市P人権研修										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費			
		需用費	燃料費(バス)						3			
委託料		研修会バス運転代行業務委託						11				
負担金補助及び交付金		研修会負担金						34				
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	165	91	85	105	105
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	△ 32		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越						
次年度繰越						
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源	165	91	53	105	105
	国支出金	0	0	0		
	府支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特財	0	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.01/0.47	0.01 / 0.47	0.07 / 0.47	0.07 / 0.47		
⑤概算人件費	1,255	1,255	1,735	1,735		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	1,420	1,346	1,788	1,840		
⑦執行額	78	89	48			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	47.3%	97.8%	90.6%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		研修会・大会等参加者数(延べ)	人	952/1700	1347/1700	1153/1700	/1700	1700
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		事業開催数	回	16/16	16/16	17/16	/16	16
	単位あたりコスト		4.9	5.6	2.8			
	単位あたりコスト							

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・各PTA活動を交流しあい指導者の力量を高めることは、各保護者としての成長のために必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・受益者負担として各単位PTAから負担金を徴収している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・成果目標については、事業規模から経験的に期待される目標としており、十分に理にかなったものとは言い難い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		各種の研修を積極的に開催し、会員相互の研修や交流を深め、保護者としての「教育」に対する意欲と資質を高めることができおり、評価できる。	
今後の課題及び方向性		<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、「家族だんらの日」の普及等を通して、地域・家庭をあげての教育力の向上につながるような取り組みを進めていく。 ●研修など活動内容について、現状分析しより効果的なあり方を検討する。 	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内 容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>■保護者・学校・地域の連携を深める上で、必要不可欠な組織として、その活動を支援し、啓発する事業として継続的に推進する。</p> <p>■引き続き研修会等の時間枠を拡大することで、PTA活動への理解と役割を確認し、活発な活動を実施する。また、前年度の役員を顧問として位置づけ、円滑な引継ぎができるように図ることで、市及び府PTA事業の推進における年度をまたいだ取組に効果が発揮できる。</p>
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 生涯学習課												
	作成責任者	八瀬 正雄												
	事業名	生涯学習一般管理事業												
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費	会計	一般会計	事業コード	630240	決算付属資料	238	頁
	施策体系	施策コード	020101	施策名	生涯学習を充実させる									
	開始年度	平成9年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	生涯学習課の事務を円滑に行う									
	対象者	対象者数 _____ 単位あたりコスト _____									
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	市民対応、議会対応、課内調整など課の庶務、予算にかかる事務 事務用品の購入や維持管理									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容								H30経費
	旅費	職員旅費								15	
	需用費	消耗品費(用度物品、上質紙他)、印刷製本、書籍購入、プリンター修繕								507	
	役務費	電話代、郵送料								690	
	使用料及び賃借料	複写機使用料								310	
	備品購入費	デジタルカメラ購入代								19	
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
	配当予算	①当初	1,457	1,931	1,699	1,482	1,478	
		②補正予算			0			
		③流充用額	65	△ 469	△ 105			
		④繰越額計	0	0	0	0	0	
	繰越	前年度繰越		0	0			
		次年度繰越		0	0			
		繰越合計		0	0			
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	1,522	1,462	1,594	1,482	1,478	
		国支出金	0	0	0			
		府支出金	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他特財	0	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類			実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類			実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.91/0.05	1.07 / 0.05	0.75 / 0	0.75 / 0			
	⑤概算人件費	7,405	8,685	6,000	6,000			
	⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	8,927	10,147	7,594	7,482			
	⑦執行額	1,522	1,379	1,541				
	執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	94.3%	96.7%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	生涯学習課事務事業数	事業数	108/108	92/92	92/90	/90	90
		単位あたりコスト		14.1	15.0	16.8		
	単位あたりコスト							

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・課事業を進める上で必要な事務的経費及び関係各課、団体等との連絡調整、庶務的経費として必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・事務用品等は、一括して発注することで、在庫管理と安価な物品調達を行っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・課内全般の庶務や、市民サービス向上に有効的である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>・生涯学習課事業の事務的経費として適切な執行を行っている。事務に係わる用品等は、計画的な調達と在庫管理で、無駄な購入のないように実施している。</p> <p>遅滞ない事務執行により、適切な市民サービスを提供できた(定性的評価)ことにより、社会教育の重点に基づき、福知山市民の生涯学習を豊かにするための事業を進めることができ、共に幸せを行きる地域社会を支える一環を担うことができたと考える</p>	
今後の課題及び方向性		<p>・スクラップ&ビルドを心がけ、事業統合等を検討しながら市民サービスの向上に努める。また、生涯学習社会の実現に向け、学校教育と社会教育の連携・融合の視点を大切にしながら人がつながる地域づくりを進める事業を展開する。</p>	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内 容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>■効率的な事務運営を進め、経費の節減に努める。</p>
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H31)</p> <p> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充 </p>

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 生涯学習課												
	作成責任者	八瀬 正雄												
	事業名	和久市公園管理事業												
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費	会計	一般会計	事業コード	650361	決算付属資料	242	頁
	施策体系	施策コード	020101	施策名	生涯学習を充実させる									
	開始年度	平成23年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	和久市公園の利用者の安全性・利便性を確保する												
	対象者	市民	対象者数	77,468	単位あたりコスト	0.0								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等	和久市自治会(清掃)												
	事業概要	和久市公園の管理運営												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容										H30経費	
		役員費	公園遊具の点検										12	
委託料		公園整備等業務委託										96		
関連事業														

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	106	118	108	108	109				
		②補正予算	191	167	0						
		③流充用額			0						
		④繰越額計	0	0	0	0	0				
	前年度繰越										
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	296	283	106	108	109				
		国支出金	0	0	0						
		府支出金	0	0	0						
		地方債	0	0	0						
		その他特財	1	2	2						
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料(和久市公園)		種類	使用料	実績金額	2	決算付属資料	12	頁
		特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0.06/0	0.06 / 0	0.04 / 0	0.04 / 0						
⑤概算人件費	480	480	320	320							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	777	765	428	428							
⑦執行額	297	285	108								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		維持管理(清掃・草刈他)	回	12/12	12/12	12/12	/	4	0
		単位あたりコスト		24.8	23.8	9.0			
		単位あたりコスト							

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市が管理する公園であり、適正に管理する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・和久市自治会に清掃業務を委託し、安価で行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・公園の適正な管理を行う事業であり、活動及び成果目標を設定するのが困難である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民が憩える場として、公園の適正な維持管理を行うことができた。 ●平成28年度から平成29年度に公園内の危険樹木を剪定・伐採し、市民の安心・安全な確保することができた。(定性的評価) ●令和元年度より、草刈及び樹木の剪定・伐採のみ業務委託する仕様に変更する。(草刈3回、樹木剪定・伐採1回) 			
今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の公園として地元で愛護してもらえるよう、地元自治会と連携して管理する必要がある。 ●生涯学習施設の位置づけにないため、適正な所管部署での管理を検討し、速やかに所管変えに必要な事務処理等を行う。 			

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	<ul style="list-style-type: none"> ○所管＝スポーツ関連課が適している。(他のスポーツ施設利用のかねあいがあるため) ○所管部署は生涯学習課でよいのか、検討が必要である ○普通財産化して地元自治会へ貸付を行い、地元自治会による管理とする
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		所見
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<ul style="list-style-type: none"> ■引き続き関連課との協議を行い、適正な管理等が行えるよう、所管部署等の整理も含め必要な事務処理を行う。
	予算への反映 【財政担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	